

## 2 平成28年度の財政運営の状況

### 上半期における予算の補正状況

平成28年度当初予算は、公共施設等マネジメント基本方針に基づく県有建築物の老朽化対策や、多子世帯子育て応援事業などの子育て関連施策のほか、介護保険等の社会保障関係の法令に基づく県負担金の増加などにより、予算規模は前年度に比べ1.1%増加し、4年連続のプラス予算となりました。

その後、平成28年度上半期において、道路関係等の公共事業や平成28年熊本地震の被災地支援、侵略的外来水生植物であるオオバナミズキンバイへの対応および当初予算成立後に生じた諸事情の変化に対応した事業等、真に必要なものに限定して補正予算を編成しました。

### 上半期における一般会計の補正の状況

#### 〇6月補正予算

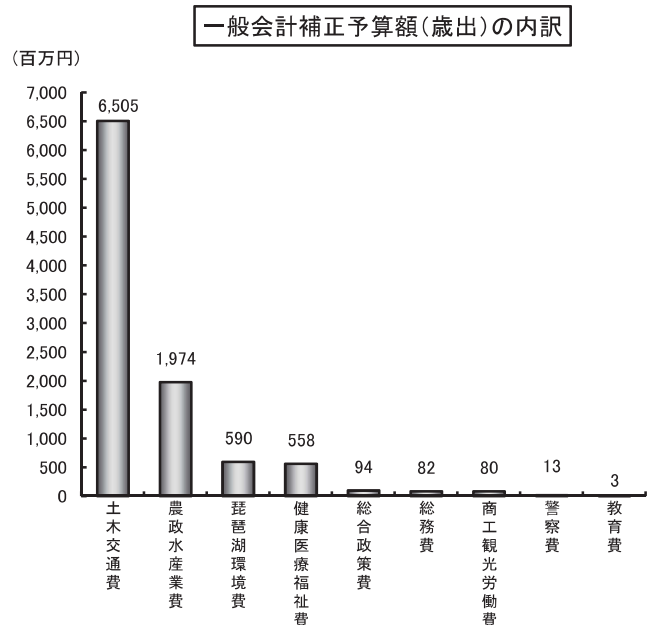
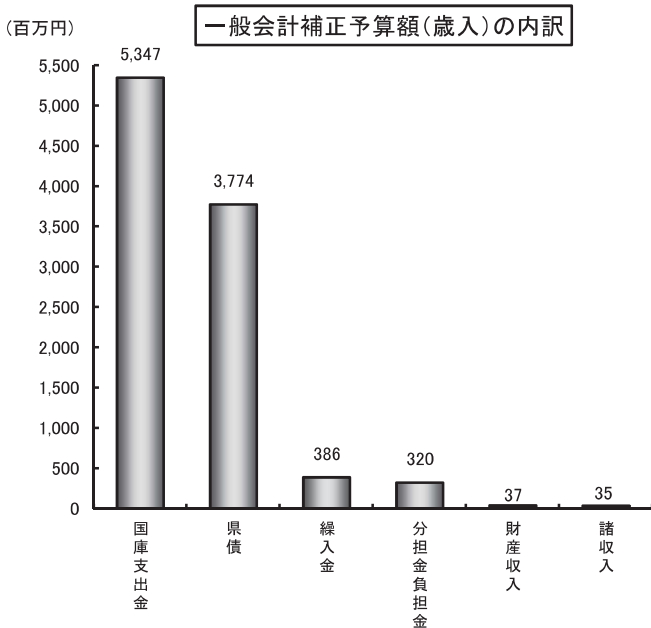
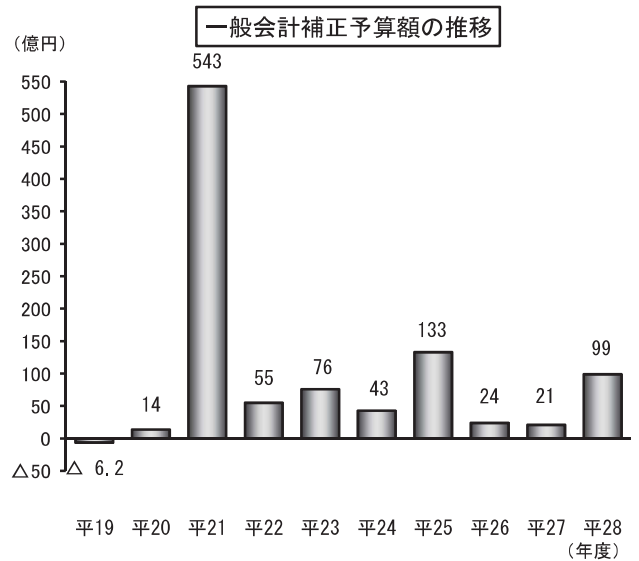
道路関係等の公共事業に要する経費のほか、平成28年熊本地震の被災地支援やびわこ文化公園都市における新県立体育館を核としたスポーツ・健康づくり拠点の整備に向けた造成基本計画の策定等に要する経費を追加したことなどに伴い、13億8,427万3千円の増額補正を行いました。

#### 〇9月補正予算

国庫補助負担金の内定や入札などで不用になったものについて精査するとともに、オオバナミズキンバイへの対応に要する経費を追加したことなどに伴い、4億4,375万円の増額補正を行いました。

また、国の施策とも呼応し、道路や河川、土地改良などの公共事業を追加したことなどに伴い、80億7,105万3千円の増額補正を行いました。

この結果、現計予算額は5,544億7,907万6千円となり、前年度の9月補正後予算額5,406億2,607万1千円に比べて2.6%の増となりました。



**6月補正予算（平成28年6月22日議決）の主な内容**

（単位：百万円）

区 分	補正額	補正額の主な内容
増額事業費	1,384	びわこ文化公園都市スポーツ・健康づくり拠点整備検討事業 34
		平成28年熊本地震被災地支援事業 43
		税務総合システム再構築事業 82
		道路関係公共事業 776
		都市計画関係公共事業 441

**9月補正予算（平成28年9月16日提出、10月13日議決）の主な内容**

（単位：百万円）

区 分	補正額	補正額の主な内容
1 増額事業費	601	陽光差し込む健康な森林づくり事業 38
		侵略的外来水生植物戦略的防除推進事業 237
		地域医療介護総合確保基金積立金 113
		児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付事業 47
2 減額事業費	△ 157	地域総合センター運営費等補助金 △ 23
		土地改良公共事業 △ 20

**9月補正予算（平成28年9月23日提出、10月13日議決）の主な内容**

（単位：百万円）

区 分	補正額	補正額の主な内容
増額事業費	8,071	林野関係公共事業 294
		民間心身障害児者施設整備費補助 121
		担い手確保・経営強化支援事業 250
		畜産収益力強化対策事業 275
		土地改良公共事業 1,466
		道路関係公共事業 3,511
		雪寒機械整備費 103
		砂防関係公共事業 570
		都市計画関係公共事業 146
		河川関係公共事業 914
		ダム関係公共事業 176

付表 第11表 平成28年度一般会計歳入予算の補正状況（平成28年10月13日現在）→ 67ページ

第12表 平成28年度一般会計歳出予算の補正状況（平成28年10月13日現在）→ 68ページ

**上半期における特別会計の補正の状況**

企業会計以外の特別会計では、9月補正予算で流域下水道事業特別会計について、湖南中部処理区の第7期経営計画における余剰金を市町等に返還するため、4億7,555万6千円の増額補正を行いました。この結果、13特別会計全体の現計予算額は、2,265億6,792万7千円となっています。

付表 第13表 平成28年度特別会計予算の補正状況（平成28年10月13日現在）→ 69ページ

## 予算の執行状況

平成28年9月30日現在の一般会計における予算に対する収入および支出の割合を見てみると、まず、収入割合は、地方交付税や地方消費税清算金の収入割合が昨年度を下回り、全体では対前年度比で0.5ポイント低くなっています。また、支出割合は、予算の規模の増加率に比べて支出済額の増加率が小さかったことにより、対前年度比で0.9ポイント低くなっています。

特別会計では、収入割合で0.2ポイント、支出割合で0.6ポイントそれぞれ前年同期を上回っていますが、これは公営競技事業において、上半期における開催日数が増えたことに伴い、上半期の執行割合が前年度を上回っていることなどによるものです。

### 平成28年9月30日現在における収入および支出の状況

○ 一般会計	予算に対する収入割合	37.7% (前年同期 38.2%)
	支出割合	36.3% (前年同期 37.2%)
○ 特別会計	予算に対する収入割合	52.9% (前年同期 52.7%)
	支出割合	53.0% (前年同期 52.4%)

付表 第14表 平成28年度予算執行状況（平成28年9月30日現在） → 69ページ

## 一時借入等および県債の状況

### 一時借入等の状況

年間の予算執行に当たって支払資金が一時的に不足する場合、金融機関からの当座借越等による一時借入や、県の基金に属する現金を一時的に歳計現金に繰り替えて運用する繰替運用等により、その不足を補っており、その状況は次のとおりです。

#### ■一時借入の状況

○ 一般会計	平成28年度借入限度額	1,200億円 (前年同期 1,200億円)
	平成28年9月30日現在の借入額	— (前年同期 —)
	上半期の最高借入額	124億円 (前年の上半期 77億円)
○ 特別会計	平成28年度借入限度額	3億5,000万円 (前年同期 3億5,000万円)
	平成28年9月30日現在の借入額	— (前年同期 —)
	上半期の最高借入額	— (前年の上半期 —)

#### ■繰替運用の状況

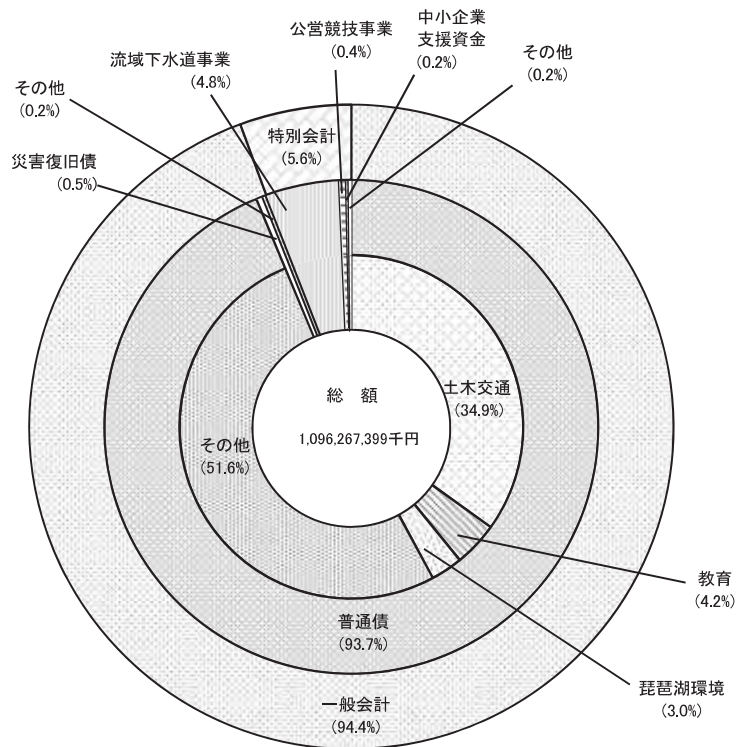
平成28年9月30日現在の繰替運用額	— (前年同期 —)
上半期の最高繰替運用額	235億円 (前年の上半期 272億円)

## 県債の状況

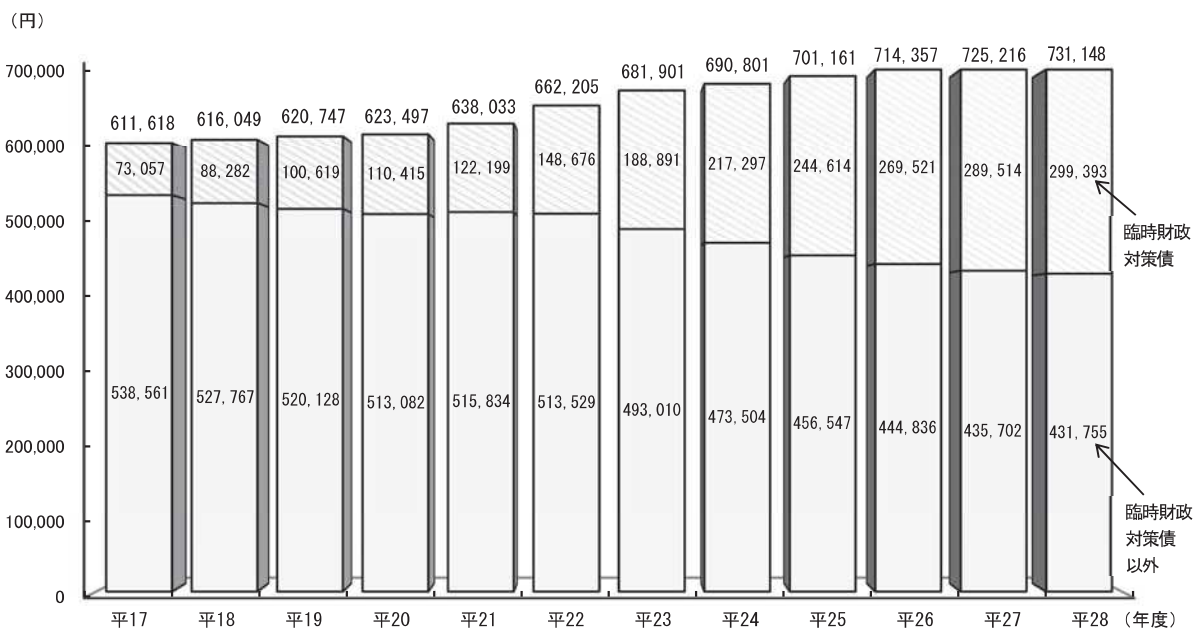
県が事業を行う際に必要となる財源は、県債（借入金）以外の歳入でまかなうことが基本ですが、長期にわたって住民に利用される施設を建設する場合などは、現在の世代と将来の世代との間で負担の均衡を図る必要があることや、災害の復旧などのように臨時的に多額の費用が必要となる場合があることから、県債を発行して資金を調達することが認められています。

平成28年9月30日現在の一般会計の県債残高は、1兆349億6,659万8千円で、前年同期より102億9,772万6千円増加しています。また、県債現在高の県民1人当たり負担額は731,148円で、前年同期に比べ増加していますが、臨時財政対策債を除く実質的な県債の県民1人当たり負担額は431,755円で、前年同期に比べ3,947円、0.9%減少しています。

県債現在高の目的別構成図(平成28年9月30日現在)



県債現在高（一般会計）の県民1人当たり負担額の推移



(注) 県民1人当たり県債負担額は、各年9月30日現在の県債現在高を各年10月1日現在の県統計課推計人口(平成17年度、平成22年度および平成27年度は国勢調査人口)で除したものです。

付表 第15表 県債の現在高状況 → 71ページ